

2021年度グループ合計で約4億本のペットボトルを回収 セブン-イレブン店舗のペットボトル回収機設置を拡大 ～レジ袋の「本部収益相当額」を活用し、2022年度中に1,000台を追加設置～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、セブン-イレブン店舗へのペットボトル回収機の設置に継続して取り組み、ペットボトルの循環型リサイクル「ボトル to ボトル」を推進しております。

セブン-イレブンでは、2017年12月以降、全国各地の自治体や様々な連携企業をはじめ、加盟店オーナー様や地域の皆様のご理解とご協力のもと、店頭へのペットボトル回収機の設置と活用を進めております。2021年には、有料レジ袋の販売による「本部収益相当額」を元に設置を加速させ、年度内目標であった設置台数1,000台を達成し、総設置台数は1,606台となりました（2022年2月末現在、13都府県に於いて）。今後も回収機設置を推進し、ペットボトルの資源循環を促進するため、2022年度においても、レジ袋の「本部収益相当額」を活用し、1,000台の追加設置を目指してまいります※1。

セブン-イレブンはこれからも、さまざまなステークホルダーの皆様のご理解、ご協力のもと、環境配慮の取り組みを推進してまいります。

※1 2021年度のレジ袋の販売による「本部収益相当額」は、約8億6,000万円となり、ペットボトル回収機の設置費用等の一部として活用致します。

◆ペットボトル回収機設置店舗一覧 https://www.sej.co.jp/csr/environment/resources_list.html



セブン&アイグループのペットボトル回収機 2021年度実績

ペットボトル回収機設置台数：2,098台（累計）

※内、セブン-イレブン：1,606台（累計）

ペットボトル回収量：約4億本 / 約10,800t

<ご参考>

2022年4月より施行される「プラスチック資源循環促進法」の対応として、植物由来（バイオマス）の素材を30%配合した環境配慮型カトラリー（スプーン、フォーク）を、4月1日（金）より順次、全国のセブン-イレブンに導入いたします。4月1日（金）より首都圏の約500店舗より導入を開始し、今夏までに全国へ拡大する予定です。

植物由来（バイオマス）の素材を30%配合したカトラリー



パッケージには、「環境にやさしい植物由来の原料を配合しています」を記載

※画像はイメージです

明日にいいこと。つなげる、つづける。



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、全てのステークホルダーの皆様とともに取り組んでまいります。

以上